

令和6年度社会福祉法人常陽社会福祉事業団事業報告書

令和7年3月31日現在

1 事業の概要

老人福祉法の理念に基づき、急速に進む高齢社会が健全な環境のもとで施設を利用できるように、処遇改善や職員の資質の向上に努めながら、次の事業を行った。

(1) 常陽社会福祉事業団の事業目的

常陽社会福祉事業団は、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の事業を行った。

ア 第一種社会福祉事業

- (ア) 養護老人ホーム清風園の経営
- (イ) 養護老人ホーム望峰園の経営
- (ウ) 特別養護老人ホーム白寿園の経営

イ 第二種社会福祉事業

- (ア) 庄内デイサービスセンター（サテライト西岳含む）の経営
- (イ) 老人短期入所事業 白寿園の経営
- (ウ) 老人短期入所事業 庄内の里の経営
- (エ) 訪問介護事業 望峰の経営
- (オ) 生計困難者に対する相談支援事業（みやざき安心セーフティネット事業）
- (カ) 小規模多機能型居宅介護創生館の経営

ウ 公益事業

- (ア) 居宅介護支援事業所 ケアプランサービスゆう
- (イ) 特定施設入居者生活介護事業所 清風園 望峰園
- (ウ) 都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

(2) 役員等に関すること

現役員・評議員

役 職	定数	氏 名
理 事	6 名	馬渡 久続（理事長） 渕上 澄雄、根井 勝泰、松尾 久丸、日高 覚助、中別府義美
監 事	2 名	野口 和行、恒松 繁雄
評議員	7 名	原田 誠一郎、瓦田 節子、大橋 正敏、坂元 和雄 本村 順吉、池脇 隆一、肥後 信行

(3) 理事会・評議員会の開催状況に関すること

令和6年度理事会及び評議員会において、次の事項について決議した。

【理事会】

開催日	議案	結果
令和6年第3回 令和6年6月4日（火） 理事6名、監事1名	報告① 事業団組織規程の一部改正について 報告② 令和5年度事業団会計補正予算（第5号）について 報告③ 事業団給与規程の一部改正について ⑪ 事業団職員就業規則の一部改正について ⑫ 事業団給与規程の一部改正について ⑬ 令和5年度事業報告について ⑭ 令和5年度理事長の職務執行状況報告について ⑮ 令和5年度事業団会計決算報告について（監査報告） ⑯ 事業団評議員会の招集等について	承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決
令和6年第4回 令和6年11月26日（火） 理事6名、監事2名	⑰ 令和6年度事業団会計補正予算（第1号）について ⑱ 令和6年度上半期理事長の職務執行状況報告について ⑲ 事業団評議員会の招集等について	可決 可決 可決
令和7年第1回 令和7年3月6日（木） 理事6名、監事1名	① 令和6年度事業団会計補正予算（第2号）について ② 令和7年度事業団経営方針及び事業計画について ③ 令和7年度事業団会計予算について ④ 事業団定款の一部改正について ⑤ 事業団職員就業規則の一部改正について ⑥ 事業団職員の育児・介護休業等取扱規程の一部改正 ⑦ 事業団組織規程の一部改正について ⑧ 役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正 ⑨ 経理規程の一部改正について ⑩ 事業団役員損害賠償責任保険契約の更新について ⑪ 事業団評議員会の招集等について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

【評議員会】

令和6年第2回 令和6年6月22日（木） 評議員6名 理事2名、監事1名	報告① 令和5年度事業団会計補正予算（第5号）について ④ 令和5年度事業報告について ⑤ 令和5年度事業団会計決算報告について（監査報告）	可決 可決 可決
令和6年第3回 令和6年12月5日（木） 評議員7名 理事2名	⑥ 令和6年度事業団会計補正予算（第1号）について	可決

令和7年第1回 令和7年3月14日（金） 評議員6名 理事2名	① 令和6年度事業団会計補正予算（第2号）について ② 令和7年度事業団経営方針及び事業計画について ③ 令和7年度事業団会計予算について ④ 事業団定款の一部改正について	可決 可決 可決 可決
--	---	----------------------

（4）内部監事監査に関すること

令和6年5月27日（月）に当法人の監事による令和5年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

（5）職員配置状況（令和7年3月31日現在）

（単位：人）

雇用区分	本部	清風園	望峰園	白寿園	ゆう	創生館	庄内デイ	サテ西岳	包括	合計	割合 % （前年度）
第1号職員	1	16	14	35	4	11	4	0	4	89	47.3%（44.6%）
第2号職員	0	7	7	16	1	2	1	0	0	34	18.1%（19.8%）
第3号職員	0	3	1	2	0	0	1	0	1	8	4.3%（3.7%）
第4号職員	1	3	4	1	0	1	2	0	2	14	7.4%（10.7%）
第5号職員	1	10	2	8	0	0	1	2	0	24	12.8%（11.8%）
第6号職員	0	4	3	5	0	2	4	1	0	19	10.1%（9.1%）
合計	3	43	31	67	5	16	13	3	7	188	100%

2 本部事務局の実施状況

事務局は業務が円滑に運営できるように次のことを行った。

（1）事業団の諸規程を現状に即したものに改正した。

＜改正、制定及び廃止した規程、規則及び要綱＞

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団定款」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団職員就業規則」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団育児・介護休業等取扱規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団組織規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程」の改正

「社会福祉法人常陽社会福祉事業団経理規程」の改正

（2）職員の処遇改善に努め事業団運営と管理が円滑にできるよう努めた。

（3）事業団の計画的かつ効率的な執行を図るため、事業団運営の最高方針及び重要施策の審議並びに各事業所間相互の最終的な総合調整を行うために毎月経営会議を行った。

- (4) 経営会議の円滑かつ適正な運営を図るため、事前に調査又は検討を行い経営会議に付議すべき事案を定めるとともに、各事業所相互の意思疎通を図るための意見交換及び情報交換を行うため毎月運営会議を行った。
- (5) 福祉関係団体等が実施する研修会及び他の施設等が実施する研修に積極的に職員を参加させるとともに施設においても自主研修を実施した。
- (6) 入社式を行った。4/1
- (7) 4/1 付の職員定期人事異動を行った。4/1
- (8) 4/1 付の職員定期昇給を行った。4/1
- (9) 新卒者等へ新任者研修を行った。4/1
- (10) 令和 6 年 2 月～5 月の介護職員処遇改善支援補助金の計画書を申請した。
- (11) 令和 6 年度介護職員等処遇改善加算等計画書を宮崎県及び都城市へ提出した。
4/14
- (12) 令和 6 年度中途退職辞令交付を行った。4/30
- (13) 障害者雇用調整金の申告申請を高齢・障害・求職者雇用支援機構へ行った。5/7
- (14) 令和 5 年度事業団会計監事監査を行った。5/27
- (15) 地域包括支援センターの指定更新に向けたヒアリングを都城市で実施した。6/5
- (16) 令和 6 年度 6・1 調査を電子申請により提出した。6/12
- (17) 資産の総額変更登記を行った。6/24
- (18) 財務諸表等電子開示システムによる「現況報告書」・「決算書」・「社会福祉充実残額算定シート」を届け出た。6/24
- (19) 福祉医療機構へ「事業報告書」を提出した。6/28
- (20) 令和 6 年度都城市介護保険施設等整備事業者募集説明会に参加した。7/2
- (21) 都城税務署へ公益法人等損益計算書等を提出した。7/2
- (22) 令和 6 年度中途入社辞令交付を行った。7/8
- (23) 全事協永年勤続表彰に 9 名推薦をした。7/17
- (24) 弁護士法人 ALG&Associates の顧問弁護士が訪問した。7/24、12/3
- (25) アビィパートナーズの飯田顧問税理士の定期訪問があった。4/9、7/24、10/30、1/16
- (26) 会計ソフトの IT 補助金の実績報告を申請した。7/24
- (27) 令和 5 年度処遇改善加算実績報告書を提出した。7/29
- (28) 令和 6 年度中途退職辞令交付を行った。7/31
- (29) 令和 6 年度中途入社辞令交付を行った。8/7
- (30) 令和 6 年度中途入社辞令交付を行った。9/2
- (31) 社会福祉法人会計研修を Zoom で受講した。9/4
- (32) 令和 6 年度経営協セミナーに参加した。9/5
- (33) 望峰園の濡縁完工検査を行った。9/6
- (34) 令和 6 年度中途入社辞令交付を行った。9/17、9/30、10/1
- (35) 令和 6 年度中途退職辞令交付を行った。9/19、9/20
- (36) 令和 6 年度事業団全体研修を行った。9/27

- (37) 全事協全国大会の永年勤続表彰に職員が代表して参加した。10/17～18
- (38) 令和 6 年度中途入社辞令交付を行った。11/1、11/11
- (39) 所轄庁である都城市による法人の指導監査があった。11/8
- (40) 第 1 回経営計画推進委員会が開催された。11/27
- (41) ショートステイから住宅型への転換について宮崎県の相談に行く。12/10
- (42) 宮崎労働局主催「ハラスメント防止対策」、「改正育児・介護休業法」オンライン研修に参加した。12/19
- (43) 養護老人ホーム望峰園の外部利用型から一般型へ宮崎県の相談に行く。12/27
- (44) 令和 6 年度職員勤務評定を実施した。12/27
- (45) 全職員から自己申告書を提出させ意向等を伺った。1/17
- (46) 西岳デイの現状について福祉部長及び福祉課長に相談した。1/17
- (47) 令和 6 年度中途入社辞令交付を行った。2/1
- (48) 清風園と望峰園の合同調理の試行をはじめた。2/3
- (49) 令和 6 年度中途退職辞令交付を行った。2/28
- (50) 令和 6 年度職員異動辞令交付を行った。3/1
- (51) 宮崎県より特定施設望峰園の一般型への変更指定通知が届く。3/10
- (52) 宮崎県より住宅型有料老人ホーム設置届の受理通知が届く。3/14
- (53) 労働基準監督署へ職員就業規則変更届を提出した。3/24
- (54) 宮崎県より指定訪問介護事業所白寿の指定通知書が届く。3/25
- (55) 都城市へ定款変更認可申請書を提出した。3/26
- (56) 定年退職辞令交付・退職辞令交付を行った。3/31

3 人材確保関連

- (1) コア学園に事業団奨学金貸与規程の説明に行った。4/4
- (2) 外国人人材紹介会社の（株）ONODERA USER RUN の施設訪問。4/30、1/9
- (3) 県立都城農業高等学校進路説明会に参加した。5/21
- (4) 令和 6 年度新規学卒求人受理説明会に参加し高校進路指導先生と名刺交換。5/24
- (5) 令和 6 年度職員採用試験案内を高校へ持参した。7/3～7/5
- (6) 令和 6 年度応募前ジュニアワークフェアに参加した。7/9
- (7) 福祉のしごと就職フェアに参加した。
- (8) 高城高等学校の生徒が施設見学に来た。7/26
- (9) 介護就職ミニ説明会に参加した。8/20
- (10) 小林秀峰高等学校の生徒が施設見学に来た。
- (11) シニア世代就職面談会に参加した。9/13
- (12) 令和 6 年度職員採用試験を都城市総合文化ホールで行った。9/19
- (13) 外国人人材紹介会社の（株）アソウヒューマニーの施設訪問。10/4
- (14) 令和 6 年度障害者ふれあい面接会に参加した。10/18
- (15) 鹿児島障害者職業能力開発校の生徒のインターンシップの受け入れを行った。
12/9～12/12

- (16) 介護のキャリアマッチングフェアに参加した。12/17
 (17) 令和 6 年度都城農業高等学校進路ガイダンスに参加した。12/18
 (18) 障害者ミニ面談会に参加した。2/6
 (19) 令和 6 年度職員内部登用試験を実施した。2/13

4 補助金関連

- (1) 令和 5 年度介護事業所等へのサービス提供体制確保事業費補助金 2,778,000 円
 (前年度も報告したが、補助金額が未確定であり決算にも未計上のため再掲載)

ア 特別養護老人ホーム白寿園

対象期間	：	令和 5 年 10 月 3 日～10 月 7 日の期間	
交付決定額	：	<u>89,000 円</u>	
費 目	：	コロナ危険手当及び時間外勤務手当	40,944 円
		衛生用品購入	18,000 円
		感染性廃棄物処理費用	30,300 円
		計	89,240 円(千円未満切捨)

イ 養護老人ホーム清風園

対象期間	：	令和 5 年 11 月 10 日～11 月 20 日の期間	
申請予定額	：	<u>326,000 円</u>	
費 目	：	コロナ危険手当及び時間外勤務手当等	141,050 円
		衛生用品購入	32,960 円
		使い捨て弁当箱等	102,960 円
		入所者施設内療養	50,000 円
		計	326,970 円(千円未満切捨)

ウ 養護老人ホーム清風園

対象期間	：	令和 6 年 3 月 2 日～4 月 1 日の期間	
申請予定額	：	<u>2,363,000 円</u>	
費 目	：	コロナ危険手当及び時間外勤務手当等	849,000 円
		保健衛生費	399,000 円
		入所者施設内療養	1,115,000 円
		計	2,363,000 円

- (2) 令和 6 年度 IT 補助金（独行中小企業基盤整備機構） 1,346,222 円

補助事業所	：	本部事務局	155,972 円
		養護老人ホーム清風園	180,750 円
		養護老人ホーム望峰園	180,750 円
		特別養護老人ホーム白寿園	180,750 円
		庄内デイサービスセンター	180,750 円
		ケアプランサービスゆう	155,750 円
		小規模多機能型居宅介護創生館	155,750 円
		地域包括支援センター	155,750 円

購入備品 : FX4クラウド社会福祉法人会計用ソフト(株)TKC
総事業費 : リース2年間分 1,964,600 円 (うち補助金額 1,346,222 円)
自己資金 : 618,378 円

(3) 介護職員等処遇改善支援補助金(宮崎県) 1,327,073 円

補助事業所	養護老人ホーム清風園	218,688 円
	養護老人ホーム望峰園	30,713 円
	特別養護老人ホーム白寿園	648,489 円
	短期入所庄内の里	126,085 円
	小規模多機能型居宅介護創生館	203,928 円
	庄内デイサービスセンター	99,170 円

令和6年度 養護老人ホーム清風園の概況

1 事業概要

入居者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように努め、入居者の人格及び意思を尊重し、一人ひとりのニーズに応じた処遇計画を策定し、その計画に基づき自立のために必要な相談および支援を行った。

また、入居者が要介護状態になった場合でも適切な介護サービスを提供し、安心・安全な日常生活を営めるよう努めた。

そして、地域の関係団体等と連携を図り、地域における住民福祉のセンター的役割を果たせるよう施設機能の地域社会貢献に努めた。

(1) 生活相談・支援

ア 入居者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者および家族に対して適切な相談・助言を行うとともに必要な支援を行った。

イ 入居者がお互いに労わり合い、思いやりのある人間関係のもとに、楽しく充実した生活を送れるよう支援した。

ウ 「自分で出来る事は自分でする」ことを生活の基本に、入居者の適性に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和を図りながら生き甲斐づくりの活動支援を行った。

(2) 健康管理

ア 毎朝、ラジオ体操・棒体操を実施し、レクリエーション・スカットボール等を定期的に実施することにより健康の維持増進に努めた。

イ 週1回の内科嘱託医と月1回の精神科医の回診により、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、定期的に体重・血圧測定を行い、年2回の定期健康診断を実施した。

ウ 新型コロナウイルス感染症発生防止の為、県、市の要請及び生活圏域の感染状況により面会、外出を制限した。また、コロナ発生時には、旧デイサービスにおいて感染者の隔離を行い、全職員で嘱託医の協力を得ながら感染防止対策の徹底を図った。

(3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況・精神状況・社会環境を把握し、本人や家族のニーズに対応できる処遇計画を策定し、実践・評価・改善を図り自立支援に向けた処遇に努めた。

イ ケアプランに基づき、必要に応じて、適切かつ円滑な介護サービスが提供できるよう努めた。

ウ 給食は、嗜好調査や給食検討会をもとに、入居者の嗜好と栄養のバランスに配慮した献立を作成するとともに、安全で季節感のある食材の確保を心掛け、より良い食事の提供に努めた。

(4) 地域社会との交流

ア 定員の20%の範囲内で契約入所ができるよう、関係機関との調整を行った。

イ 地域福祉のセンター的役割を果たすため、横市地区まちづくり協議会等への参加に努めた。

(5) 職員の資質向上

ア 施設内・施設外研修を計画的に実施し、職種別研修会・講習会等へ積極的に参加した。

イ 朝礼・職員会議・事業所会議によって職種間の意思統一と共通理解に努めた。

(6) 防災・防犯対策

ア 緊急有事の際には、入居者の安全かつ迅速な避難救出を第一として、防災教育ならびに避難誘導訓練の実施、消防防災設備の点検、消火器の位置確認及び操作訓練を計画的に実施した。

イ 消防署の協力を得て総合防災訓練を実施し、自衛消防隊の円滑な活動ができるように努めた。

(7) 施設・環境整備

ア 清風園・望峰園の合同調理に伴い大型冷凍庫の購入と配食車のカーポート設置を行った。

イ デイルームの高天井照明（水銀灯）を LED 照明へ取り換え工事を行った。

ウ 施設電源設備の高圧気中開閉器の老朽化にて取り換え工事を行った。

エ 給湯システムの給湯加圧ポンプユニットの不具合にて取り換え工事を行った。

オ 居室清掃をはじめ、業者や職員により園庭や樹木の整備と美化を図り、生活しやすい屋内外の環境づくりに努めた。

2 実施状況

毎週火曜 Dr 山崎. 診察（内科） 毎月第 4 月曜 Dr 森. 診察（精神科）

(4 月)

- 3 日 利用者書道（毎月）
- 8 日 利用者リハ体操（毎月）
- 9 日 事業所会議（毎月） 検便（調理職毎月 処遇職員隔月）
- 10 日 利用者買い物の日（毎月 2 回） 老人ホーム墓地清掃（毎月）
- 11 日 利用者誕生会（毎月第 2 木曜日）
- 12 日 県南ブロック養護老人ホーム 施設長・相談員会議（清風園）
- 14 日 利用者生け花（毎月）
- 15 日 利用者散髪（毎月）
- 16 日 運営会議（毎月） 自衛消防訓練（毎月）
- 18 日 利用者喫茶コーナー開設（毎月） 事業所内研修（年 6 回）
- 19 日 衛生害虫駆除防除（業者）厨房毎月・全体年 2 回
- 19 日 利用者機能訓練（毎月）
- 25 日 経営会議（毎月）エレベーター点検（毎月）栄養管理・安全感染委員会（毎月）
- 26 日 利用者との話し合い（毎月） 園内除草作業（シニア元気クラブ：4 月～11 月）
- 30 日 利用者カレンダー作成（毎月）

※感染委員会は感染状況により都度開催。（定期開催 3 ヶ月毎）

※レクリエーション・スカットボールはコロナ感染状況に応じて講師・職員で対応。

(5 月)

- 10 日 横市地区社協総会（副施設長）
- 23 日 県南ブロックグラウンドゴルフ大会（高城、利用者 19 名・職員 15 名参加）
- 27 日 園庭剪定（業者）年 3 回

(6 月)

- 3 日 横市地区町づくり協議会専門部会（副施設長）
- 5 日 メンタルヘルス研修（宮崎市 職員 1 名参加）
- 7 日 県南ブロック栄養士研修（望峰園）
- 12 日 チーム力を高めるコミュニケーション研修 中堅職員Ⅰ（宮崎市 職員 1 名参加）
- 14 日 県南ブロック調理員研修（AL 三股）
- 18 日 横市町づくり協議会 健康福祉部会（副施設長）

(7 月)

- 4 日 メンタルヘルス研修 初任者研修
- 5 日 県南ブロック事務員研修 (AL 霧島)
- 11 日 課題解決力向上研修 1 (宮崎市 職員 1 名参加)
- 23 日 横市町つくり協議会 健康福祉部会 (副施設長)
- 24 日 メンバーシップ研修 中堅職員 I (宮崎市 職員 1 名参加)
- 27 日 自衛消防訓練 (夜間通報訓練)
- 28 日 メンタルヘルス研修 初任者編 (宮崎市 職員 1 名参加)

(8 月)

- 1 日 清風園夏祭り
- 7 日 盆法要 (攝護寺)
- 20 日 夏休みラジオ体操 (横市地区町つくり協議会: 横市小学校 副施設長)
- 26 日 定期消防点検 (業者) 年 2 回

(9 月)

- 12 日 清風園敬老祭
- 15 日 きりしま支援学校中等部出前授業 (副施設長・相談員)

(10 月)

- 3 日 県南ブロック支援員研修 (東岳荘)
- 3 日 業務改善の進め方研修 管理職員編 (宮崎市 職員 1 名参加)
- 4 日 支援に繋がる障がい理解研修 (リモート 職員 1 名参加)
- 8 日 横市町つくり協議会 健康福祉部会 (副施設長)
- 10 日 県南ブロック利用者交流大会 (真幸園)
- 13 日 介護職員による医療的ケア研修 (都城市 職員 3 名参加)
- 17 日 全国社会福祉事業団大会 (秋田県 職員 1 名参加)
- 18 日 高齢者ふれあい事業 横市町つくり協議会 健康福祉部会 (副施設長)
- 27 日 横市地区まちづくり協議会より花苗寄贈
- 31 日 きりしま支援学校中等部 出前事業 (副施設長・相談員)

(11 月)

- 1 日 九社連老人福祉施設協議会 職員研究大会 宮崎大会 (職員 3 名参加)
- 7 日 県南ブロック看護師研修 (たちばな荘)
- 14 日 消防署立ち合い総合避難訓練 (南消防署)
- 14 日 横市地区まつり作品出展 (利用者作品)
- 22 日 きりしま支援学校中等部交流会
- 26 日 宮崎県医療ガス 安全講習会 (宮崎市 職員 1 名参加)
- 28 日 業務改善の進め方研修 中堅職員編 (宮崎市 職員 1 名参加)

(12 月)

- 3 日 利用者餅つき大会
- 24 日 利用者とのしめ縄・門松づくり

(1 月)

- 6 日 初詣
- 10 日 県南ブロック施設長・相談員会議 (慈恵園)
- 31 日 プリセプター研修 (宮崎市 職員 1 名参加)

(2 月)

- 4 日 まちづくり協議会 健康福祉部会 (副施設長)
- 5 日 福祉職員の為の医学的基礎知識研修 (リモート 職員 1 名参加)
- 7 日 排泄ケア研修 (リモート 職員 1 名参加)
- 18 日 建築物・建築設備・防火設備の定期検査 (黒岩設計)

(3 月)

- 3 日 介護施設従事者向け結核対策研修 (都城市 職員 1 名参加)
- 12 日 彼岸法要 (攝護寺)

3 職員の状況

令和 7年 3.31現在

施設長	嘱託医	副施設長兼相談員	相談員	主任支援員	介護支援専門員
1(0)	2(2)	1(0)	3(0)	1(0)	1(0)相談員兼務
支援員兼介護員	看護職員	栄養士	調理員	事務職	計
24(8)	3(1)	1(0)	8(5)	2	47(16)

()内は非常勤職員を再掲

4 月別入居者入退居の状況

令和 7年 3.31現在

		入 居			退 居			月末現在		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
令和4年	4月	0	2	2	0	0	0	15	55	70
	5月	0	0	0	0	0	0	15	55	70
	6月	0	0	0	0	0	0	15	55	70
	7月	0	2	2	1	2	3	14	55	69
	8月	0	1	1	0	0	0	14	56	70
	9月	0	0	0	0	1	1	14	55	69
	10月	0	1	1	0	1	1	14	55	69
	11月	1	1	2	1	3	4	14	53	67
	12月	1	1	2	0	1	1	15	53	68
	令和5年 1月	0	1	1	1	0	1	14	54	68
	2月	0	0	0	0	0	0	14	54	68
	3月	0	2	2	0	0	0	14	56	70
合 計		2	11	13	3	8	11	172	656	828

*退居者の状況

*入所者の状況

退居後の 居所	病 院	1	入 居 所 前 の	自 宅	9
	特別養護老人ホーム	5		病院	2
	介護付有料老人ホーム	0		養護老人ホーム	0
	死亡	4		介護付有料老人ホーム	2
	自宅	0		その他(兄弟宅等)	0
	その他	1		合 計	13
	合 計	11			

5 年齢階層別調

令和 7年 3.31現在

	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計	平均年齢
男 性		0	3	6	3	2	0	0	0	14	79歳
女 性		0	3	5	9	18	12	8	1	56	87歳 4月
合 計	0	0	6	11	12	20	12	8	1	70	85歳8月

6 在居期間

令和 7年3.31現在

期 間	男	女	計
1年未満	2	10	12
1～ 5年	7	17	24
5～10年	4	18	22
10年以上	1	11	12
合 計	14	56	70

7 要介護度の状況

令和7年3.31現在

要介護度	男	女	計
自立・要支援	9	31	40
要介護1	1	2	3
要介護2	1	9	10
要介護3	3	6	9
要介護4	0	7	7
要介護5	0	1	1
合 計	14	56	70

養護老人ホーム望峰園の概況

1 事業概要

入居者の自主性を尊重して生きがいを持ち安心して生活できるように、処遇の充実及び施設環境の改善・整備に努める事を基本方針とした。支援および介護の対応を図るために次の事業を実施した。

(1) 生活相談・支援

ア 入居者相互の思いやりのある人間関係の形成により、穏やかに安定した生活が送れる相談支援に努めた。

イ 入居者のニーズや特性を把握して各自に応じたクラブ、行事等への参加を通して張り合いのある生活の維持に努めた。

(2) 健康管理

ア ラジオ体操・棒体操、園庭散歩・グラウンドゴルフ等のレクリエーションの実施にて運動機会の保持増進に努めた。嘱託医との連携による定期健康診断にて疾病の早期発見・早期治療のほか、毎月の血圧、体重測定を実施し入居者の健康管理に努めた。

イ 感染防止対策として入居者のマスク着用、手指消毒を実施のうえ、家族への面会制限を周知して入居者ならび職員の感染防止対策に努めた。感染確認時の初動対応の徹底により入居者の感染を防止した。

(3) 入居者の処遇

ア 入居者の身体状況、精神状況を把握し、ニーズに対応できる処遇計画を策定し職種間の共通理解の下に適切な支援を行った。

イ 介護保険サービス利用者に対しては適切な介護サービスの提供に努めた。

ウ 嗜好と栄養面を考慮した献立によりバランスのとれた食事を提供した。さらに行事食を適宜実施して、食生活への季節感の取り組みに努めた。

エ 毎月の誕生会や季節の行事等の実施により活動的な生活を提供できるように努めた。感染防止対策のため園外行事計画の変更に伴い、園内にてスカットボール大会等を実施して入居者の生きがい活動の推進に努めた。

(4) 地域社会との交流

「みやざき安心セーフティネット事業」により地域における経済的困窮事案に対して必要即応の対応を図ります。

(5) 職員の資質向上

職員の意識及び処遇技術の向上を図るため職場内研修を実施し、事業団事例発を行うなど職員の資質向上に努めた。

(6) 災害発生時の避難・救出訓練

定期的な消火設備の点検を行うと共に、毎月の避難訓練と年2回の総合防災訓練を実施して、災害発生時に円滑な対処ができるように備えた。

(7) 施設・環境整備

居室内外の定期的な清掃の他、入居者の自発的な除草や清掃活動等によって園内外の美化整備を行った。

2 実施状況

令和6年

4月1日 内科回診(毎週月曜日)

4月2日 体重測定(毎月) 身長測定(年2回) 散髪

4月4日 預金日 出張販売(毎週木曜日)

4月8日 介護ミーティング(隔月)
4月9日 事業所会議・安全・感染委員会(毎月) 検便(栄養課)
4月11日 誕生会
4月12日 県南ブロック施設長相談員合同会議
4月16日 園内スカットボール大会
4月18日 生花クラブ(毎月)
4月23日 喫茶
4月25日 利用者集会、避難訓練(毎月)、カラオケクラブ(毎月)
5月2日 園内グランドゴルフ大会、行事食(弁当) 体重測定
5月7日 事業所会議・安全委員会・感染委員会
5月9日 散髪
5月12日 行事食(母の日)
5月14日 カラオケクラブ、検便(支援・栄養・管理課)
5月21日 利用者検診①、②(～5月22日)
5月23日 県南ブロックグランドゴルフ大会
5月28日 利用者検診③、④(～5月29日)
5月30日 避難訓練 利用者集会 みやざき安心セーフティネット事業意見交換会
6月3日 介護ミーティング体重測定
6月4日 体重測定、散髪
6月6日 誕生会
6月7日 県南ブロック栄養士研修会
6月11日 事業所会議・安全委員会・感染委員会
6月14日 県南ブロック調理員研修会
6月16日 父の日行事食
6月17日 安心セーフティネット事業研修会(宮崎市)
6月19日 選択食(うどん/えび天・かき揚げ・肉)
6月20日 生花クラブ、安心セーフティネット事業研修会(都城市)
6月25日 カラオケクラブ
6月27日 避難訓練 利用者集会
7月1日 床ワックス(～2日)
7月4日 体重測定 散髪・誕生会
7月5日 県南ブロック事務員研修会
7月7日 屋内外清掃
7月9日 カラオケ 検便(支援・栄養・管理課) 事業所会議・安全委員会・感染委員会
7月11日 望峰園夏祭り
7月18日 屋内外清掃 生花クラブ
7月20日 行事食(土用うしの日)
7月23日 喫茶(手作りどらやき)
7月25日 避難訓練 利用者集会
7月27日 行事食(土用うしの日)
8月1日 体重測定 散髪
8月2日 七夕飾りつけ
8月5日 盆の設え 介護ミーティング
8月6日 検便(栄養課)
8月8日 誕生会
8月9日 県南ブロック施設長相談員合同会議 → 中止となる。

8月13日 事業所会議・安全委員会・感染委員会・身体拘束及び虐待防止委員会
8月13日 行事食(盆精進料理 8/13～8/15)、盆迎え火
8月15日 盆送り火
8月22日 カラオケ
8月27日 避難訓練 利用者集会
9月2日 害虫駆除
9月3日 散髪 体重測定
9月5日 総合避難訓練 消防設備点検 森松子氏、都城市最高齢式典
9月10日 検便(支援・栄養・管理課) 事業所会議・安全委員会・感染委員会
9月12日 令和6年度敬老会・誕生会
9月17日 喫茶
9月19日 生花クラブ
9月24日 カラオケクラブ
9月26日 利用者集会 マットレス洗浄乾燥(9/29・10/6・20・27)
10月1日 散髪・体重測定
10月3日 誕生会 県南ブロック支援員研修会
10月7日 介護ミーティング
10月8日 検便(栄養課) 事業所会議・安全委員会・感染委員会
10月9日 希望食(とんかつ・えびフライ・鮭のホイル焼き)
10月10日 県南ブロック交流大会(第三位)
10月15日 運動会組分け
10月17日 生花クラブ
10月22日 カラオケクラブ
10月24日 令和5年度望峰園健康運動会
10月28日 インフルエンザワクチン接種
10月29日 避難訓練 利用者集会
10月31日 九州老施協会議(宮崎大会～11/1まで)
11月5日 体重測定 散髪
11月7日 誕生会 県南ブロック看護師研修会
11月9日 中郷地文化祭(作品搬入)
11月10日 中郷地文化祭(作品搬出)
11月12日 検便(支援課・栄養課・管理課) 事業所会議・安全委員会・感染委員会
11月14日 園内グランドゴルフ大会(昼食カレー提供)
11月19日 利用者健康診断(11/19 11/20 11/26) 生花クラブ
11月20日 床ワックス(11/20 11/21)
11月26日 カラオケクラブ・新型コロナウイルスワクチン接種
11月27日 介護ミーティング
11月28日 避難訓練 利用者集会
12月3日 体重測定、忘年会・誕生会
12月5日 大掃除
12月10日 検便(栄養課) 事業所会議・安全委員会・感染委員会
12月12日 散髪 生花クラブ
12月17日 カラオケ
12月19日 もちつき
12月24日 冬物衣料支給
12月25日 喫茶

12月26日 避難訓練 利用者集会

令和7年

1月1日 行事食(おせち料理～1/3)
1月7日 体重測定、誕生会、新年会
1月9日 散髪
1月10日 県南ブロック施設長、相談員合同会議
1月13日 行事食(七草粥)
1月14日 検便(支援課・栄養課・管理課) 事業所会議・安全委員会・感染委員会
1月16日 初詣(神柱神社)
1月21日 カラオケクラブ
1月23日 生花
1月30日 避難訓練 利用者集会
2月3日 節分・介護ミーティング
2月4日 体重測定
2月6日 散髪・検便(栄養課)
2月12日 事業所会議・安全委員会・感染委員会
2月13日 誕生会
2月18日 生花
2月20日 喫茶(チョコレートケーキ)
2月25日 カラオケクラブ
2月27日 避難訓練 利用者集会
3月3日 行事食(ひなまつり)
3月6日 体重測定
3月4日 総合防災訓練 防火設備点検→コロナ感染対応の為、中止
3月11日 事業所会議・安全委員会・感染委員会 検便(支援課・栄養課・管理課)
3月13日 誕生会→コロナ感染対応の為、中止
3月18日 彼岸法要(西本願寺動画視聴)・散髪
3月25日 生花クラブ
3月27日 カラオケクラブ
3月31日 利用者集会

3 職員の状況

令和7年3月31日 現在

施設長	副施設長兼 主任生活相談員	相談員	事務員	看護職員	栄養士
1	1	1	1	2	1
調理員	主任支援員	サービス 提供責任者	支援員兼 訪問介護員	嘱託医	計
5 (1)	1	1	18 (2)	1(1)	31(4)

() は非常勤職員再掲

4 月別入所者入退所状況

区分 分月	入 所			退 所			月末現在		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4		1	1			0	10	37	47
5			0			0	10	37	47
6			0			0	10	37	47
7		2	2		1	1	10	38	48
8	1		1			0	11	38	49
9		1	1		2	2	11	37	48
10			0			0	11	37	48
11		1	1	1	2	3	10	36	46
12			0	1		1	9	36	45
1		2	2			0	9	38	47
2		1	1			0	9	39	48
3		3	3			0	8	41	49
合計	1	11	12	2	5	7			

退所後の状況（令和6年度）

退 所 後 の 状 況	在 宅	1
	医療機関	1
	他の養護老人ホーム	0
	特別養護老人ホーム	2
	老人保健施設	0
	死 亡	4
	その他	0
合 計		8

5 年齢階層別調

令和7年3月31日 現在

年齢	64～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	
性別	69歳	74歳	79歳	84歳	89歳	94歳	以上	計
男	0	3	2	2	1	0	1	9
女	0	1	6	5	17	6	5	40
計	0	4	8	7	18	6	6	49

6 在所期間

令和7年3月31日 現在

期 間	男	女	計
1年未満	1	7	8
1～5年	5	16	21
5～10年	1	10	11
10～20年	2	7	9
20年以上	0	0	0
合 計	9	40	49

7. 要介護度の状況

令和7年3月31日 現在

要介護度	男	女	計
要介護 1		2	2
要介護 2		3	3
要介護 3	2	3	5
要介護 4		1	1
要介護 5		4	4
合 計	2	13	15

特別養護老人ホーム白寿園の概要

1 事業概要

介護保険制度の目的は、施設の入居者、在宅の利用者の区別なく、全ての入居者に質の高いサービスを安定的に提供することであることを全職員が認識し、介護保険法に基づく「介護老人福祉施設」として介護サービスの向上に努めた。

入居者にとっては自宅に変わる生活の場であるため、生活空間を大切とした個室ユニットケアを推進し、毎日の生活が安心して、明るい気持ちで過ごせるよう、ケアプランに基づいた適切で真心のこもった介護を行うと共に、残存機能の維持を図ることに力を注いだ。

(1) 施設・環境の整備

ア 入居者が安全・安心して生活ができるように、園内外の環境美化、居室・共有スペース等の消毒、清掃に努めた。

(2) 生活指導

ア 日々の生活を充実させるため、昼の体操、音楽リハビリ、機能回復訓練を実施可能な状況下で励行し、入居者の心身機能の維持向上に努めた。

イ 新聞購読やテレビ鑑賞を楽しんでもらい、ニュースや社会に動き等の情報にふれ、社会性のある生活を送られるよう努めた。また、園内の雰囲気のを和やかにするため、有線放送による軽音楽等を流した。

(3) 健康管理

ア 入居者の高齢化、重度化のなか、常に一人ひとりの健康状態を注意し、嘱託医・看護師・管理栄養士・介護職員の連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等健康保持に努めた。

イ ノロウィルス・インフルエンザをはじめ新型コロナウイルスの感染症予防に全職員一致協力し取り組んだ。新型コロナウイルスの感染予防対策として、可能な範囲で集団行事を行い、家族の面会制限等の中、集団感染予防対策に努めながら、各ユニットで個別レク、外出を行い入居者の身体面・精神面の低下予防に努めた。

(4) 入居者の介護

ア 入居者が自宅における生活と入居後生活が連続したものとなるよう再アセスメント、ケアプランを見直し、より快適な生活ができるように努めた。

イ 給食については、栄養マネジメントを実施し、常に栄養の確保に留意することは勿論、入居者の健康状態や好みに合わせて調理し、適温・適時に配膳し、行事食も適宜配慮して食生活の面から生きがいを高められるよう努めた。

ウ 歯科医師との連携をとりながら口腔ケアを実施し、口腔内の清潔・機能維持に努めた。

エ 入居者の自然な動きに合わせた“滑らせる介護”、入居者の安全な移乗を可能とした“抱えない介護”の提供により入居者に負担のない介護に努めた。

オ その人に合った車椅子を提供することで快適な姿勢で過ごしていただけるように努めた。

カ 生体反応センサーを利用した機器を導入し、睡眠、起床、排泄などの生活のリズムや呼吸や心拍などの状態の把握などを行うことで個々に合わせた介護を行うように努めた。

(5) 地域社会との交流

ア 在宅で要介護状態の高齢者に対し、ショートステイ事業を行い、心身機能の維持並びに、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図るよう努めた。

イ 在宅で心身の虚弱な高齢者に対し、配食サービスを行い在宅高齢者の生活援助に努めた。

(6) 職員の資質の向上

- ア 新規採用者に対して新人研修プログラムに沿った指導を行う事で基礎知識の統一に努めた。
- イ 職場における腰痛予防対策として福祉用具の利用を促進し、原則として、人が人を持ち上げないための代替策として、リフトの利用や、重心の水平面内での移乗を行うスライディングシートやトランスファーボードを利用し、入居者、介護者双方にとって負担のない介護に努めた。
- ウ 職場におけるメンタルヘルス対策として、ストレスチェックを実施し職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスへの気付きを促すとともに、働きやすい職場づくりを進め職員がメンタルヘルス不調とならないように努めた。

(7) 非常災害対策

- ア 常に消火設備・避難設備等の点検整備に心がけ、有事に備え入居者の人命尊重を第一に、毎月避難訓練、年2回の消防署立合の総合防災訓練を実施し、防災意識の高揚と協力体制の確立に努めた。

(8) 地域における公益的な取り組み

- ア 既存の制度や福祉サービスでは対応が困難で、緊急な対応が必要な生計困窮者に対して自立的な社会貢献活動の取り組みとして、生計困難者等の自立を援助するための相談支援体制に努めた。

(9) 感染予防対策

- ア 新型コロナウイルス感染症対策として職員の健康観察を行うとともに検温の徹底1ヶあごとのアルコール手指消毒、マスク着用の徹底等の対策、**週2回職員の抗原検査、ショートステイ利用前に利用者の抗原検査**を行い、感染症の持ち込み対策を実施した。
- イ 新型コロナウイルス感染症が発生した際の対応をシミュレーションした。感染を最小限に抑えるためには初動が特に大事になってくるので、正確かつ迅速に情報を把握し、ゾーニングや防護服の対応、関係機関との連携をとれるよう検討した。

2 実施状況

令和6年度は新型コロナウイルス5類へ移行後、活動を再開していった。

(1) 実施した行事

- ア 月例
誕生会 (毎月 各ユニット)
ユニット企画レク (毎週水曜日)
理髪の日 (2事業所が交互に訪問し毎月)
避難訓練 (毎月)
運営会議 (毎月 第3火曜日)
経営会議 (毎月 第4火曜日)
リーダー会 (毎月)
喫茶コーナー (毎月 **12月から3月は中止**)
ユニットケア推進委員会 (毎月)
(抱えない介護・水分・排泄・認知症・歩行・園芸・レク)
新規採用者職場内研修 (2日間) 職員採用時
事故発生防止委員会感染症・食中毒委員会、身体拘束廃止委員会
褥瘡対策委員会、医療的ケア対策推進委員会、衛生委員会 (毎月随時)
インフルエンザワクチン予防接種 (11月)
腰椎検査 (3月) 夜勤者検診 (7月)
ユニット別誕生会、レクレーション、体操

イ 行事

令和6年

- 4月 職員検便（毎月：調理、隔月：直接処遇職員）
喫茶コーナー（冬季を除く毎月）
花見ドライブ（各ユニット）
- 5月 焼肉会（各ユニット）
- 8月 そうめん流し
- 9月 敬老祭
- 9月26日 防災避難訓練
- 10月 さんま焼き
- 12月 そば打ち
- 12月25日 餅つき
- 3月24日 総合避難訓練
- 1月 初詣（各ユニット）

ウ 研修

- 5月15日 安全対策体制加算対応研修
- 5月23～ 福祉職員スタートアップ研修（3名）
- 6月1、2、22、23日 介護福祉士実習指導者講習会
- 6月25～28日 ユニットリーダー研修 実習
- 6月26日 県南ブロック特養部会 栄養士・調理員研修
- 8月2日 県南ブロック特養部会 管理運営研修
- 8月22日 県南ブロック特養部会 合同研修会
- 8月24日 宮崎県認知症ケア スキルアップセミナー
- 8月29、30日 福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程 初任者コース2
- 9月16日 ストレスチェック実施者研修
- 10月11日 県南ブロック特養部会 介護・看護研修会
- 11月7日 メンタルヘルス対策研修会
- 11月18日 高齢者施設における感染症対策研修会（2名）
- 11月22日 県南ブロック特養部会 生活相談員研修会（主催者）
- 11月26日 医療ガス安全講習会
- 11月27日 施設従事者向け高齢者虐待防止研修会（2名）
- 12月1日 介護職種の技能実習指導員講習会
- 12月10日 施設ケアマネジャー研修会
- 2月12日 都城市社会福祉施設等連絡会 高齢者関係部会研修会
- 2月22日 宮崎県認知症ケア スキルアップセミナー
- 抱えない介護勉強会（年4回、講師専任作業療法士）

エ ボランティア

- 4月20日 都城コアカレッジ ガチ介護講師（リフト操作 2名）
- 5月18日 都城西高校ボランティア（11名）
- 6月15日 都城西高ボランティア（雨天中止）
- 7月13日 都城西高校ボランティア（学校にてコロナあり中止）
- 10月12日 都城西高ボランティア（4名）
- 11月9日 都城西高ボランティア（2名）
- 12月7日 都城西高ボランティア（9名）

オ 実習

- 7月8日～8月13日 都城高校福祉科実習（3年生 1名）
- 8月1日～8月27日 都城高校福祉科実習（2年生 3名）
- 8月13日～8月16日 小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る介護体験（1名）

10月3日～10月4日 介護の担い手体験事業（1名）
11月25日～11月29日 都城医療センター実習（2名）
12月2日～12月6日 都城医療センター実習（2名）

（2）新型コロナウイルス等での対策として計画したが実施できなかった行事

ア 月例 音楽リハ （第2・4月曜日）
個別リハ （毎週水曜日）
事業団介護相談員相談（毎月第3木曜日）

イ 行事
令和6年
なし

ウ 研修
令和6年

10月 県南ブロックミニバレー大会

エ ボランティア
なし

オ 実習 なし

カ 新型コロナウイルス、インフルエンザ感染対応

新型コロナウイルス、インフルエンザに関する感染対策委員会

5月2日、7月12日、7月19日、8月6日、9月5日、11月5日、1月13日
2月5日、

感染に関するゾーニング対策実施

7月13日～7月16日（4日）、7月28日～7月31日（4日）、7月29日～8月1日（4日）、8月28日～9月2日（6日）、9月15日～9月21日（7日）、9月18日～9月24日（7日）

インフルエンザゾーニング 12月29日～1月6日（9日）

3 職員の状況

R7. 3. 31現在

施設長	副施設長	相談員・ケアマネ	事務職	支援係長	介護職	看護師	清掃・相談補助	栄養士	調理員	嘱託医	計
1	1	2	2	1	35 (8)	5 (1)	1	1	8 (4)	2 (2)	59 (15)

() は非常勤職員・嘱託契約数を再掲

4 月別入居者入退状況

区分	入 居			退 居			月末現在			在所日数	
月	男	女	計	男	女	計	男	女	計	6年度	5年度
4	1		1		3	3	8	40	48	1468	1500
5		2	2		3	3	8	39	47	1442	1527
6	2		2		2	2	10	37	47	1407	1459
7	1	1	2			0	11	38	49	1443	1541
8		2	2	1	1	2	10	39	49	1490	1520
9			0		1	1	10	38	48	1419	1475
10	1	2	3	2	2	4	9	38	47	1463	1514
11	1	3	4	1	2	3	9	40	49	1440	1462
12		2	2	1	3	4	8	38	46	1467	1550
1		2	2		1	1	8	39	47	1413	1547
2		2	2			2	7	39	46	1322	1432
3	1	2	3	1		1	7	41	48	1470	1547
合計	7	18	25	6	18	26	105	466	571	17244	18074

5 在所期間

R7. 3. 31現在

期間	1年未満	1 ～ 5年	5 ～ 10年	10年以上	平均在所期間
男	2	3	1	1	55.8ヶ月
女	12	24	5	0	30.4ヵ月
計	14	27	6	1	34.1ヵ月

6 年齢階層別調

R7. 3. 31現在

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	年齢
男			1	2	1	1	2		最小年齢 78歳0ヶ月
女				2	8	15	12	4	最大年齢 104歳3ヶ月
計	0	0	1	4	9	16	14	4	平均年齢 92.4歳

7 要介護状況

R7. 3. 31現在

期間	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
男	0	0	3	1	3	4.0
女	0	0	8	18	15	4.2
計	0	0	11	19	18	4.1

8 短期入所生活介護事業

利用者が要介護状態になった場合に、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の機能の維持並びに、利用者の家族の身体状況及び精神的負担の軽減を図るように努めた。

利用状況 ユニット型短期入所

R6年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人員	11	11	10	12	10	12	13	9	8	10	10	14	
延日数	164	188	137	178	189	195	154	156	114	125	100	171	1871

※参照

前年度	120	149	166	166	200	197	235	175	146	180	166	173	2073
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

*特養への入居が続いたことと、長期利用者の減少があり前年を下回った

利用状況 短期入所生活介護庄内の里

R6年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人員	26	26	24	22	22	25	26	25	30	28	25	24	
延日数	413	332	318	279	295	356	381	379	406	411	369	405	4344

※参照

前年度	334	413	434	470	438	454	461	406	448	444	481	421	5204
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

*ユニット短期と同様に、特養への入居が続いたことと、長期利用者の減少があり前年を下回った

9 食の自立支援事業

食事の調理が困難な高齢者に対し、定期的に居宅を訪問して栄養バランスのとれた食事を提供することにより健康保持及び自立生活の援助を図りかつ安否確認を行い、在宅高齢者の福祉の増進をはかるように努めた。

利用状況

R6年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総数
実人数	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	6	6	77
配食数	83	94	82	93	87	97	113	98	98	92	86	89	1112

※参照

前年度	111	126	120	111	129	118	124	119	99	78	72	81	1288
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	------

※2名市外への施設入居、1名同敷地内小規模多機能居宅介護へ変更があった。1名新規利用者

居宅介護支援業所 ケアプランサービスゆうの概況

事業の概要

ケアプランサービスゆうでは介護支援専門（ケアマネージャー）4名を配置し在宅での介護支援サービス全過程において自立した質の高い生活が送れるように介護サービス計画書（ケアプラン）を作成しました。

その中で要介護者が最も効率的に保健 医療 福祉のサービスを利用できるよう他職種、医療機関とも連携を深めることに努めました。

また、ご家族の悩みを真摯に受け止め共有し安心した在宅生活を支援できるようサポート・助言を行いました。

感染症拡大防止を行いながら相談や計画作成、利用調整を要介護者やその家族、各事業所と連携をとり、適切なサービスを利用できるように支援を行いました。

介護支援専門員は要援護高齢者が、その人らしく住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるよう専門職としての知識と技術を身につけるよう努めました。

主たる業務内容

(1) 在宅介護にかかわる総合的な相談窓口

- ・ 主として自宅へ訪問や必要に応じて電話などを行い相談・助言・指導に努めました。
- ・ 各種サービス事業者、民生委員ならびに地域の方からの情報提供を得られるよう努めました。
- ・ 地域の社会資源を発掘・活用し地域との連携を図れるよう配慮しました。
- ・ 包括支援センターと連携を取り困難事例などの受け入れもできる体制を整えました。
- ・ 感染症や災害が発生した場合でも介護サービスが継続的に提供されるように各事業所との連携に努めました。
- ・ 利用者の人権の擁護のため、研修を行い虐待防止に努めました

(2) 指定居宅介護支援事業所として介護保険への取り組み

- ・ 在宅でできる限りその人らしい生活が送れるように、サービスの紹介や自立に向けたケアプランの作成・介護保険認定申請代行など円滑に行えるよう努めました。
- ・ 医療機関・サービス事業所との連携を密にし自宅での自立をめざし支援を行いました。
- ・ 利用者本人だけでなく家族の負担軽減も図れるよう信頼関係構築に努めました。

(3) 主任介護支援専門員を配置し介護支援専門員の知識向上に努め、特定事業所加算の取得を行いました。

- ・ 個別研修計画に沿った研修会への参加や週1回程度の研修の実施
- ・ 地域包括支援センター等が実施する事例検討会等の参加
- ・ 24時間連絡体制を整備
- ・ 包括支援センターとの連携、包括からの困難ケースの受け入れ
- ・ 減算のないよう日常業務を実施
- ・ 他法人との合同研修会の実施
- ・ 実習生の受け入れを実施

令和 6年度 居宅介護支援事業所 ケアプランサービスゆう 相談一覧

年月日 担当	A	B	C	D	E	小計	
						介護計画	新規受け入れ
令和 6年4月	36+【予防1】	39+【予防4】	29+【予防0】	27+【予防3】		131【8】	1
5月	37+【予防1】	37+【予防4】	30+【予防0】	27+【予防1】		130【6】	1
6月	37+【予防2】	34+【予防3】	31+【予防0】	26+【予防1】		130【6】	3
7月	37+【予防2】	34+【予防3】	30+【予防0】	26+【予防0】		126【5】	2
8月	37+【予防2】	35+【予防2】	27+【予防1】	29+【予防0】		127【5】	2
9月	39+【予防2】	34+【予防3】	29+【予防1】	26+【予防0】		131【6】	7
10月	37+【予防2】	34+【予防5】	30+【予防1】	26+【予防0】		127【8】	4
11月	38+【予防2】	35+【予防5】	33+【予防1】	27+【予防0】		131【8】	7
12月	39+【予防2】	35+【予防4】	33+【予防1】	30+【予防1】		135【8】	6
令和 7年1月	39+【予防2】	32+【予防4】	35+【予防1】	30+【予防1】		140【8】	4
2月	39+【予防2】	38+【予防4】	34+【予防1】	29+【予防1】		140【8】	8
3月	39+【予防1】	35+【予防3】	34+【予防1】	28+【予防1】		139【6】	5

令和6年度 ケアプランサービスゆう 実績報告

対象月	新規	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	給付数
4月	1	8	51	31	25	13	11	139
5月	1	6	53	25	30	11	11	136
6月	3	6	47	28	29	13	13	136
7月	2	5	48	28	27	12	11	131
8月	2	5	47	30	27	13	10	132
9月	7	6	46	32	25	16	12	137
10月	4	8	44	30	26	14	13	135
11月	7	8	46	28	29	15	13	139
12月	6	8	44	27	28	21	15	143
1月	4	8	45	28	28	23	16	148
2月	8	8	47	28	29	23	13	148
3月	5	6	45	29	26	26	13	145
合計	50	82	563	344	329	200	151	1669

庄内デイサービスセンター、サテライト西岳の概要

1 事業概要

在宅の要支援・要介護高齢者に、入浴及び給食等の各種サービスを提供し、要介護状態等になった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、ならびに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることに留意して、事業を実施した。

(1) 入浴

高齢者に適した湯温管理、在宅生活が維持向上できるよう利用者の心身の状況に応じて、必要な介助を行い身体の清潔保持に心がけた。

(2) 機能訓練・レクリエーション

利用者の心身の特性に応じて日常動作訓練、レクリエーション等を実施し、楽しみながら身体機能の維持向上ができるよう実施した。内容については、全体レクリエーションのほか、個別で実施できる個別運動カードを作成し、自主的に機能訓練を行えるようスタッフ間で協議し、提供した。

(3) 送迎

迎え時に検温を実施し、体調不良の早期発見に努めた。乗車前に発熱が認められる場合には利用を見合わせる判断をした。車内が密にならないよう座席の位置に配慮した。安全運転を心がけ、声かけを行い利用者の安全な乗降に努めた。

(4) 給食

利用者に適した材料と季節の旬の食材を献立に取り入れ、適切な形態の昼食を提供した。厨房内外の衛生管理に注意を払い、食中毒の予防に万全を期した。また、コロナウイルス予防対策として密にならないよう利用者の座席の配慮を行い、アクリルパネルを使用し食事時の飛沫感染を防いだ。

2 健康管理

デイ到着後に再度測定を実施し、バイタル異常や気分不良等の訴えを確認し次第、家族やケアマネージャーに報告を行い対応を行った。熱発や体調不良を訴え休まれた方は状況が解消した場合であっても引き続き、ご家族、ケアマネージャーと連絡を取り健康状態に留意した。感染症拡大防止のため常時、マスクの着用の協力、送迎車や事業所内の接触頻度が高い場所(手すり、机など)の消毒を定時に行い、事業所内の換気、利用者様同士が密にならないよう、集団での活動は避け、アクリルパネルを活用することにより飛沫感染を防いだ。

3 地域との交流

西岳地区町づくり協議会の会議に参加し、地区の情報や状況、行事のことなど意見交換を行った。

4 職員の資質向上

(1) 一人ひとりに合った個別ケアを提供し、自宅での生活を継続できるように生活リハビリも含めた支援を行えるように取り組み職員の技術向上を図った。また毎月の職員会議や就業前後のミーティングで情報交換ができる場を設け周知にも努めた。

介護リフト、ボード、シートを導入し、利用者様、職員双方に負担のない介護の提供に努めた。

5 具体的実施状況・利用実績

別紙参照

6 実習生の受け入れ

今年度は看護(都城医療センター附属看護学校)、介護(都城高等学校)の学校から実習の依頼があり受け入れた。感染症を考慮し、マスクの着用の協力をいただき感染予防対策を図り実習生の受け入れを行った。

令和6年度 事業別利用人員実績一覧

庄内デイサービスセンター

事業区分	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護保険通所事業	月間利用延人員	397	460	421	505	471	486	529	484	410	370	375	384	5,292	441
	1日平均利用人員	18.0	20.0	21.1	22.0	22.4	23.1	23.0	23.0	20.5	18.5	18.8	18.3		20.7
介護予防総合事業	月間利用延人員	85	81	76	78	57	71	71	86	76	81	76	72	910	76
	1日平均利用人員	3.9	3.5	3.8	3.4	2.7	3.4	3.1	4.1	3.8	4.1	3.8	3.4		3.6
元氣アップ総合事業	月間利用延人員	57	63	48	53	47	47	47	43	46	45	44	43	583	49
	1日平均利用人員	2.6	2.7	2.4	2.3	2.2	2.2	2.0	2.0	2.3	2.3	2.2	2.0		2.3
合計	開所日数	22	23	20	23	21	21	23	21	20	20	20	21	255	21
	職員体制	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		15
	月間利用者総数	539	604	545	636	575	604	647	613	532	496	495	499	6,785	565
	1日平均利用人員	24.5	26.3	27.3	27.7	27.4	28.8	28.1	29.2	26.6	24.8	24.8	23.8		26.6
	前年度月間利用者総数	613	672	643	590	581	568	642	614	538	519	526	514	7,020	585

※ 令和6年8月29日(木)台風のため営業休止

小規模多機能型居宅介護 創生館の概況

1 事業の概況

住み慣れた地域（自宅）で認知症や身体的に介護が必要になっても、利用者が望む生活ニーズの把握に努め、通い・訪問・宿泊のサービスを柔軟に組み合わせながら、住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるようにサービスの提供を実施した。

又、利用者がサービス利用に伴い、地域との関係が希薄にならない様、地域関係者や地域住民と連絡・連携を図りながら、地域行事への参加や地域との協力体制の構築に努めた。

2 主たる取り組み内容

（１）施設・環境の整備

- ・利用者との信頼関係を構築し、家庭的な環境づくりに努めた。

（２）介護保険サービスへの取り組み

- ・利用者の心身の状況、希望及び置かれている環境や生活習慣を理解した上で、通い、訪問及び宿泊サービスを柔軟かつ即時的に組み合わせながら、安心して自宅や地域での生活が継続できるように努めた。
- ・利用者がこれまで培ってきた家族や地域との関係性を大事にしながら、一人一人の暮らしに合わせ、居宅サービス計画及び小規模多機能型居宅介護計画の作成に努めた。
- ・令和６年度介護報酬改定の内容に基づき、BCP（業務継続計画）や身体拘束防止、虐待防止、感染症対策等の運営基準に合わせた対応、及び各種加算の体制づくり、サービス計画書の作成に努め、運営指導においても大きな指摘なく法令遵守に努めた。

（３）健康管理

- ・一人ひとりの健康状態を注意し、看護師・介護職員等との連携を図りながら、疾病の早期発見、予防等の健康保持に努めた。
- ・かかりつけ医との連携を基本としつつ、協力医療機関との連絡・連携を図りながら、緊急時の対応に努めた。

（４）地域社会との交流、関係づくり

- ・地域の民生委員や公民館長、まちづくり協議会、南九州大学より知見者、包括支援センター等から委員として集まって頂き、運営推進会議を年６回開催し、創生館の運営状況の報告や意見交換を行った。
- ・事業所で実施した自己評価に基づき、運営推進会議にて外部評価を行い、第三者からのご意見も参考にしながらよりよい運営へ向けて目標

設定を行った。

- ・庄内地区社会福祉協議会の地域支援会議へ毎月 1 回参加し、地域の情報、課題の把握に努めた。
- ・地域行事（庄内ふるさと祭りへの作品展示及び利用者と一緒に参加や乙房地区の交流会等）への参加を行った。
- ・庄内地区防災訓練への参加を行った。
- ・庄内、乙房、菓子野地区の生活援助員及び福祉協力員の方々をお招きし見学して頂き、創生館を知って頂く機会を持った。

（５）感染症・非常災害対策

- ・常に消火設備・避難設備等の点検整備を心がけ、年 2 回の避難訓練を実施し、防災意識を高めることと、協力体制の確立に努めた。
- ・令和 6 年度は新型コロナウイルスの感染者が令和 7 年 1 月、2 月の計 2 回（利用者 4 名、職員 1 名）発生し、インフルエンザの感染者が 12 月に発生し介護状況から自宅療養難しく創生館での対応を行った。計 1 回（利用者 1 名）発生した。

その都度、利用者及び利用者家族へ感染者が発生した旨の報告を行い、サービスを利用されるかどうか相談し、サービスを休止することなく、感染対策を行いながら、提供するサービスの変更（通いから訪問へ支援の変更など）など柔軟なサービスの提供を行った。

令和6年度 年間計画実施状況

小規模多機能型居宅介護創生館

	主要事業	地域連携事業	会議等
4	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会		職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
5	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会 ○焼肉会	○第1回運営推進会議開催	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
6	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○地域生活支援会議参加	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
7	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○地域生活支援会議参加 ○第2回運営推進会議開催	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
8	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○地域生活支援会議	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
9	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会 ○敬老会	○地域生活支援会議参加 ○庄内地区生活援助員・福祉 協力員研修会	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
10	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会 ○運動会 ○コスモス見学	○地域生活支援会議参加 ○第3回運営推進会議開催	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
11	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○地域生活支援会議参加 ○第4回運営推進会議開催 ○庄内ふるさと祭り(出展、参 加) ○庄内地区防災訓練参加 ○乙房地区コスモス交流会	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
12	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○地域生活支援会議参加	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
1	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○地域生活支援会議参加 第5回運営推進会議開催	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
2	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○地域生活支援会議参加	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
3	○新規相談対応、ケアマネジメント ○誕生会	○地域生活支援会議参加 ○第6回運営推進会議開催	職員会議(第3金曜日) 運営会議(第3火曜日)
備考	施設見学、説明随時実施		外部研修 ※別紙研修実施表に基づ き研修へ参加

令和6年度 小規模多機能型居宅介護 創生館 実績報告（サービス別）

対象月	登録者数	新規登録者数	通い【延べ人数】	泊まり【延べ人数】	訪問【延べ人数】	合計【延べ人数】
4月	25	0	410	130	382	922
5月	25	0	417	144	383	944
6月	26	1	377	135	380	892
7月	26	0	408	119	402	929
8月	27	1	394	144	427	965
9月	26	0	413	124	397	934
10月	25	0	425	120	450	995
11月	24	0	406	126	392	924
12月	23	0	417	135	392	944
1月	23	0	344	109	400	853
2月	24	1	386	137	353	876
3月	25	1	415	133	419	967
合計	299	4	4812	1556	4777	11145

令和6年度 小規模多機能型居宅介護 創生館 実績報告

対象月	新規	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	登録者数
4月	0	2	1	7	9	5	1	0	25
5月	0	2	1	6	10	5	1	0	25
6月	1	2	1	7	11	4	1	0	26
7月	0	2	1	7	11	4	1	0	26
8月	1	2	1	7	11	4	2	0	27
9月	0	2	0	7	11	4	2	0	26
10月	0	2	0	6	11	4	2	0	25
11月	0	2	1	5	11	3	2	0	24
12月	0	2	1	5	9	4	2	0	23
1月	0	2	1	5	8	5	2	0	23
2月	1	2	1	8	6	5	2	0	24
3月	1	3	1	8	6	5	2	0	25
合計	4	25	10	78	114	52	20	0	299

地域包括支援センターの概況

都城市志和池・庄内・西岳地区地域包括支援センター

1 運営方針

高齢者及びその家族が住みなれた自宅で安心してその人らしい生活が送れるように、医療と介護の連携、地域ケア会議の推進、生活支援サービスの充実及び向上を図り地域包括ケアシステムの構築と在宅生活の支援に努めた。

介護保険制度の理念に基づき地域包括ケアの中核として円滑な運営を図り、本人の意思及び人格を尊重して自立した生活ができるよう公共性および地域性ならびに協働性の視点に基づいた事業運営に取り組んだ。

2 事業の概要

(1) 総合相談支援

各分野の専門職を配置し、4職種を中心に地域における問題を総合的に受け止め、問題解決にむけ関係機関と連携を図り継続的かつ専門的な相談支援体制を構築し、地域の福祉相談の中核としての役割を果たせるよう努めた。

(2) 権利擁護

後見制度に関する周知、消費者被害対応、虐待の防止など高齢者の権利擁護の実践に努めた。関係機関とも連携することで、地域の集いへの参加等を通じ啓発活動を行い制度の周知啓発に努めた。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対して包括的かつ継続的で適切なサービスが提供されるように、地域ケア会議の開催を通じて、地域団体ならびに専門機関と協働して、地域の多様な社会資源を活用した包括ケア体制の構築に努めた。困難なケースに対して職員間で相談しチーム対応を行った。地域の介護支援専門員からの相談に対し、助言や指導にて後方支援を行った。

(4) 介護予防ケアマネジメント

効率的かつ効果的な介護予防が提供されるよう、適切なケアマネジメントを実施した。介護予防対象者の積極的な把握を行うと同時に、市が推進する地域での介護予防教室（こけないからだ作り講座・**フレイル予防教室**）の普及・支援に努め、総合事業、予防給付が効率的かつ効果的に提供されるように適切にケアマネジメントを行った。

(5) 認知症地域支援推進事業

認知症地域推進委員会を中心に認知症高齢者の把握と支援体制の構築に努めた。

＜包括＞令和6年度 実績報告

月	相談件数									予防プラン (委託：下段)	こけない 体操教室	多職種連携 会議
	総合相談	権利擁護	包括的・ 継続的ケア マネジメント	介護保険 に関する 事	任意事業	保健医療 認知症	住宅改修	ケア会議 (コア会議 含)	計			
4月	156	10	8	66	14	24	8	0	286	262 88	5	15
5月	159	7	5	76	24	28	14	1	314	263 89	5	18
6月	156	15	4	62	22	25	8	0	292	259 88	9	20
7月	163	15	9	66	24	31	13	2	323	259 88	21	21
8月	163	21	12	69	36	33	12	3	349	249 86	10	14
9月	155	19	11	73	36	22	14	4	334	255 90	25	25
10月	176	16	6	82	30	29	15	1	355	262 96	19	15
11月	142	20	11	61	18	21	11	0	284	274 96	16	23
12月	151	10	14	61	27	25	12	1	301	283 105	8	18
1月	202	11	14	81	33	30	13	1	385	277 109	12	25
2月	183	12	14	85	28	32	13	5	372	275 101	14	24
3月	207	12	17	82	35	36	25	2	416	287 105	8	10
合計	2013	168	125	864	327	336	158	21	4011	3205 1141	152	228